

# 平成20年度社会実験実施地域について

～ 香川県高松市、愛媛県松山市を選定 ～

- 平成20年度に社会実験を実施する地域を公募したところ、全国から応募がありました。これらの案件について、学識経験者等からなる「社会実験の推進に関する懇談会」にお諮りし、17地域が選定されました。
- そのうち四国では、下記の2件の社会実験を支援します。

## ※実験項目

### 1. 安全快適な自転車走行空間の確保に関する社会実験（香川県高松市）

既存道路利用空間の再配分による、自転車走行空間の確保。

### 2. まつやまー自転車ネットワーク社会実験（愛媛県松山市）

共同自転車システム（ネットワーク型レンタサイクルシステム）の運営と、C&BR（サイクル&バスライド）の導入。

## ※ 実施主体

社会実験を行う施策に関連する関係者からなる協議会

## ※ 社会実験の実施期間

平成20年度中

- 社会実験は、既存制度の大幅な見直しを伴う、先進的かつ斬新な施策について、当該施策を本格実施に移行するにあたって、事前に効果や影響を確保するため、場所と期間を限定して試行・評価するものです。

平成20年10月22日  
国土交通省四国地方整備局

## <問い合わせ先>

国土交通省四国地方整備局 道路部 道路計画課

TEL 087-851-8061

課長 本田 肇（内線4211）

建設専門官 庄野 達也（内線4215）

## 安全快適な移転車空間の確保に関する社会実験（香川県高松市）

### 【施策の概要】

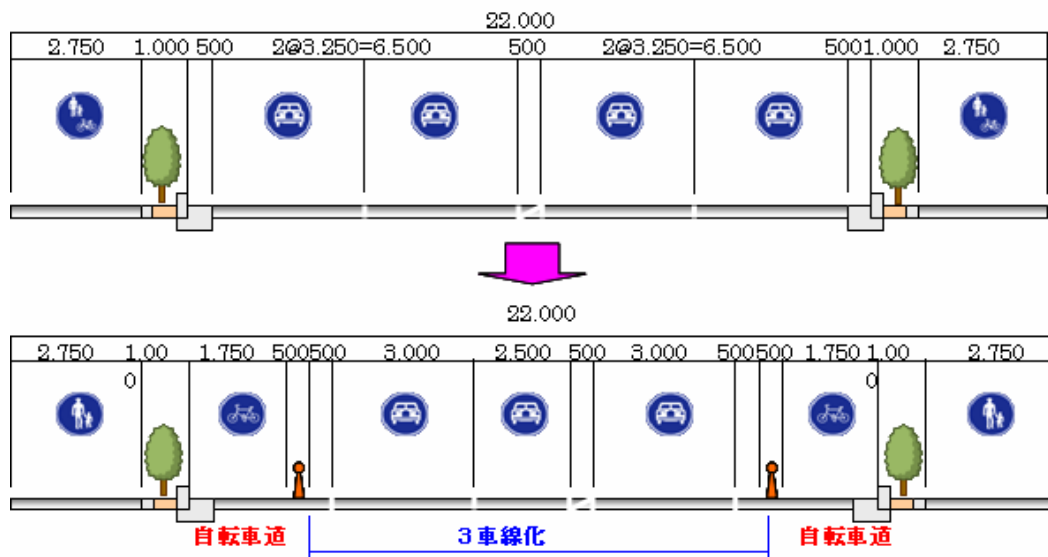
車線数減となる既存道路利用空間の再配分による安全な自転車走行空間の確保と歩行者通行空間の拡大、それに伴い生じる影響調査と自動車交通の流入抑制や他路線への誘導・転換を含めた交通マネジメント施策を検証します

### 【実験の概要】

学校や会社、役所が集積し、自転車交通量が多い高松市中心市街地において、既存の道路空間を再配分し、自転車走行空間を確保する社会実験を実施。また本実験による周辺への渋滞等の影響を回避するため、自動車交通流の抑制や他路線への誘導・転換を図るエリア的な交通マネジメントを実践する。



標準断面図



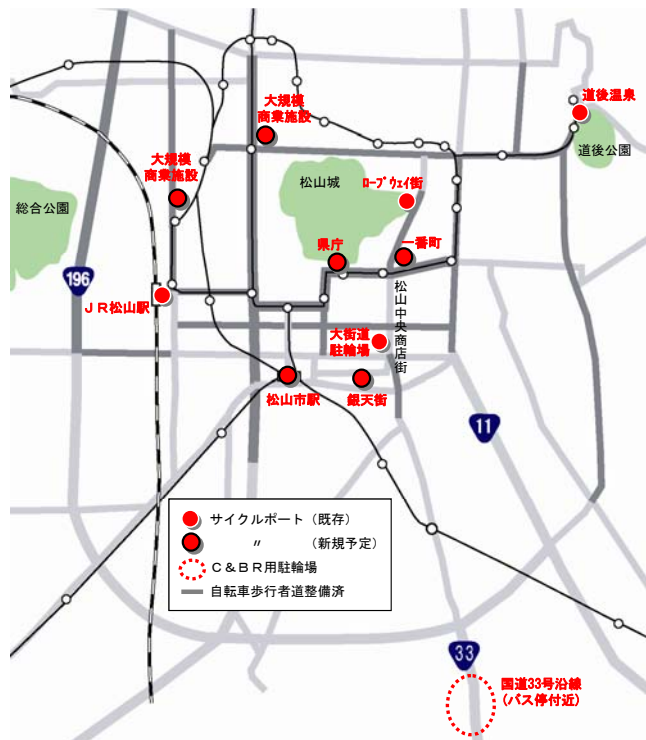
# まつやま 自転車ネットワーク社会実験（愛媛県松山市）

## 【施策の概要】

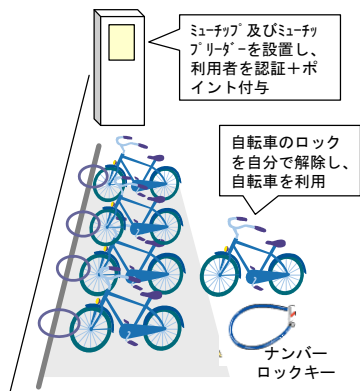
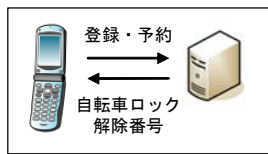
共同自転車（ネットワーク型レンタサイクル）システムやC&BRを連動させ、利用促進を図る。また、本実験においては、複数のサイクルポートをIT技術により一元管理・運営を図る点において管理費コストの削減を図る施策を検証します。

## 【実験の概要】

松山市中心市街地内における自転車回遊性の向上、違法駐輪の削減（歩行者の安全性の向上）、市街地流入部及び中心市街地内の渋滞緩和・交通事故の削減等を目指し、中心市街地内における自家用車利用から自転車利用への転換、郊外部から中心市街地流入の自家用車利用から自転車+バス利用への転換を検証します。



### ネットワーク型共同自転車システム



### C&BR（サイクル&バスライド）

バス停付近の自歩道の一部スペースを活用し、C&BR用駐輪場を設置。

